

9月2日(水)

雷別ドングリ倶楽部 3回目の活動

9月2日(水)、今年度3回目の雷別ドングリ倶楽部の活動を、新規会員2名を含む16名が参加して、雷別国有林で行いました。

今回の活動内容は、10月に植付を予定している箇所の地拵作業、木のタネを採取するためのシードトラップの設置、種子豊凶調査、の3つでした。

地拵作業では、普段使ったことがない大きな鎌に悪戦苦闘しながらササを刈払ったり、倒木の枝をノコで切り落としながら枝条整理を行いました。



地拵え作業



地拵え作業



地拵え作業終了後記念撮影

今年は、春から夏にかけて採る予定のハルニレのタネが不作で採取できませんでした。このため、今回採取予定のミズナラは、ドングリがなっているか否かを一本一本調査し、採取可能な木であればその周囲にシードトラップを5～6枚連続して設置するなど、予定していた30枚をすべて設置しました。その後、10月に採取予定のイタヤカエデ・キハダ・ヤチダモのタネの豊凶調査を兼ねた森林浴を行い活動を終了しました。

(自然再生指導官 朝倉)



シードトラップの設置



カシワのドングリ